

不動点を利用した合成方程式【類題】

$f(x)$ を x の整式とする。実数 α が方程式 $f(x)=x$ の解であるとき、次の問いに答えよ。

- (1) 整式 $f(f(x))-x$ は $x-\alpha$ で割り切れることを示せ。
- (2) $f(x)=x^2-3x-2$ とする。このとき方程式 $f(f(x))=x$ を解け。
< '94 奈良女子大 >

【戦略1】

- (1) $g(x)=f(f(x))-x$ などとおきます。

$g(x)$ が $x-\alpha$ で割り切れることを示したければ

$$g(\alpha)=0$$

ということが言えれば解決です。

- (2) $f(x)=x^2-3x-2$ のとき、 $f(x)=x$ という2次方程式は、

$$x^2-4x-2=0$$

となりますから、実数解 $x=2\pm\sqrt{6}$ をもちます。

汚いので、 α, β などとおいて話を進めます。

- (1) の結果から、 $f(f(x))-x$ は $x-\alpha$ でも、 $x-\beta$ でも割り切れることとなります。

これは、 $(x-\alpha)(x-\beta)(=x^2-4x-2)$ で割り切れることを意味します。

もっと言えば、 $f(x)-x=x^2-4x-2$ なので

$$f(f(x))-x \text{ は } f(x)-x \text{ で割り切れる}$$

わけです。

そこで、 $f(f(x))-x=\{f(x)\}^2-3f(x)-2-x$ であり、これを $f(x)-x$ で割り算してみます。

(気持ちの上で、 $f^2-3f-x-2$ という f の式を $f-x$ という f の式で割るというニュアンスで思えばいいです。)

【解答】

- (1) α は $f(x)=x$ の解なので、 $f(\alpha)=\alpha$ を満たす。

$$g(x)=f(f(x))-x \text{ とおくと}$$

$$\begin{aligned} g(\alpha) &= f(f(\alpha))-\alpha \\ &= f(\alpha)-\alpha \\ &= \alpha-\alpha \\ &= 0 \end{aligned}$$

よって因数定理から $g(x)$ は $x-\alpha$ で割り切れる。

- (2) 方程式 $f(x)=x$ すなわち $x^2-4x-2=0$ を考える。

この判別式を D とすると、 $\frac{D}{4}=2^2+2=6>0$ より異なる2つの実数解 $x=\alpha, \beta$ をもつ

(1) から、 $f(f(x))-x$ は $x-\alpha$ でも $x-\beta$ でも割り切れる、つまり $(x-\alpha)(x-\beta)(=x^2-4x-2)$ で割り切れることになる。

もっといえば、 $f(x)-x$ で割り切れることになる。

$$f(f(x))-x=0$$

$$\{f(x)\}^2-3f(x)-2-x=0$$

$$\begin{array}{r} f+(x-3) \\ f-x \overline{) f^2-3f-x-2} \\ \underline{f^2-xf} \\ (x-3)f-x-2 \\ \underline{(x-3)f-x(x-3)} \\ x^2-4x-2 \end{array}$$

$$\{f(x)-x\}\{f(x)+x-3\}+x^2-4x-2=0$$

$$\{f(x)-x\}\{f(x)+x-3\}+f(x)-x=0$$

$$\{f(x)-x\}\{f(x)+x-2\}=0$$

$$(x^2-4x-2)(x^2-2x-4)=0$$

よって、求める解は $x=2\pm\sqrt{6}, 1\pm\sqrt{5}$ … 圏

【戦略2】(2)について

$f(f(x))-x$ を計算していく際、

「 $f(x)-x$ で括れるはず」

という気持ちをもって「テクって」みます。

【解2】(2)について

$$\begin{aligned} f(f(x))-x &= f(x)^2 - 3f(x) - x - 2 \\ &= f(x)^2 - x^2 + x^2 - 3f(x) - x - 2 \\ &= \{f(x)+x\}\{f(x)-x\} + x^2 - 3(x^2 - 3x - 2) - x - 2 \\ &= \{f(x)+x\}\{f(x)-x\} - 2x^2 + 8x + 4 \\ &= \{f(x)+x\}\{f(x)-x\} - 2(x^2 - 4x - 2) \\ &= \{f(x)+x\}\{f(x)-x\} - 2\{f(x)-x\} \\ &= \{f(x)-x\}\{f(x)+x-2\} \\ &= (x^2 - 4x - 2)(x^2 - 2x - 4) \end{aligned}$$

よって、方程式 $f(f(x))-x=0$ は

$$(x^2 - 4x - 2)(x^2 - 2x - 4) = 0$$

と変形でき、その解は $x = 2 \pm \sqrt{6}$, $1 \pm \sqrt{5}$ … 罫

【総括】

$$\begin{aligned} f(f(x))-x &= \{f(x)\}^2 - 3f(x) - 2 - x \\ &= (x^2 - 3x - 2)^2 - 3(x^2 - 3x - 2) - x - 2 \end{aligned}$$

とこの後の展開が嫌だったので【解1】は「 f を崩さずに」計算しています。

まあ、この程度の計算であればさらに計算を続けて

$$\begin{aligned} &= x^4 + 9x^2 + 4 - 6x^3 + 12x - 4x^2 - 3x^2 + 9x + 6 - x - 2 \\ &= x^4 - 6x^3 + 2x^2 + 20x + 8 \end{aligned}$$

となり、これが $(x-\alpha)(x-\beta)(=x^2-4x-2)$ で割り切れることを利用してもよいでしょう。

$$\begin{array}{r} x^2 - 2x - 4 \\ x^2 - 4x - 2 \overline{) x^4 - 6x^3 + 2x^2 + 20x + 8} \\ \underline{x^4 - 4x^3 - 2x^2} \\ -2x^3 + 4x^2 + 20x + 8 \\ \underline{-2x^3 + 8x^2 + 4x} \\ -4x^2 + 16x + 8 \\ \underline{-4x^2 + 16x + 8} \\ 0 \end{array}$$

より、

$$f(f(x))-x = (x^2 - 4x - 2)(x^2 - 2x - 4)$$

と因数分解できます。